

紺野美沙子講演会

自分をみつめて、
世界をみつめる



連続テレビ小説や大河ドラマなど、数々のテレビ・映画・舞台で俳優として活躍する一方で、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・東ティモール他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動されている紺野美沙子さんによる講演会です。

どなたでも聴講可能ですので、お友達・ご家族等お誘い合わせの上、奮ってお申し込みください。

なお、定員になり次第締め切りますので、事前に聴講券をお求めください。

とき 平成23年**11月29日(火)**
13:30~15:00 (開場12:30~)

ところ **八戸市公会堂**

聴講券 **1,300円**
*うち100円は、八戸市への義援金とします。

申込み **八戸商工会議所窓口にて聴講券を販売いたします。事前にご購入ください。お早めどうぞ!**

主催 **八戸商工会議所女性会**
(Tel.0178-43-5111)

プロフィール

俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使

東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。他に、「オットーと呼ばれる日本人」(作:木下順二)、「きんぎょの夢」(原作:向田邦子)、「現代能楽集イブセン」(作:坂手洋二)などがある。テレビ・映画・舞台に活躍する一方、1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ・タンザニア・東ティモール他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。

近著に、親善大使として訪れた国や人々について綴った「ラララ親善大使」(小学館刊)がある。

2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。音楽や影絵や映像など、様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスや、ドラマリーディングを定期的に行っている。